

◆研究概要等

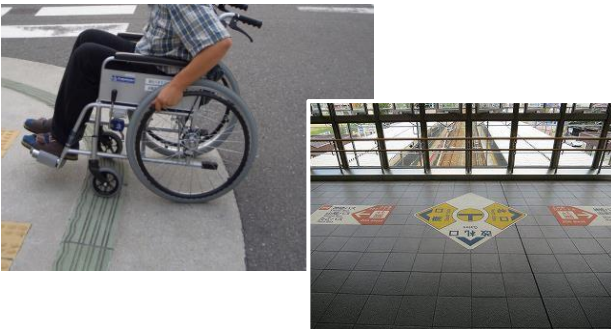
「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)」「交通基本法」「福祉のまちづくり条例」など、高齢者や障害者を始めとする人たちがいきいきと生活し、住み慣れた地域で住み続けるためのまちづくりの法律や条例があります。福祉のまちづくりは1990年代から地方自治体を中心に、多くのまちでバリアフリーな都市・住宅の整備や地域の公共交通が整備されています。

これまで地方自治体のバリアフリー基本構想づくりやガイドラインづくりの支援、地域公共交通づくり、バリアフリー・ユニバーサルデザインにつながる検証研究やフィールドワークに携わってきました。人口減少の中で高齢化は進み、テクノロジーはさらに進展するにつれ、益々複雑かつ多様になってゆくでしょう。今後進んでいく社会の中で住んでいる人の想いを聴きながらこれからのまちづくりを模索してゆきたいと考えています。

■研究テーマ等

1. 都市・地域の福祉のまちづくりに関する研究

都市やまちのバリアフリー・ユニバーサルデザインに関連した福祉のまちづくりをレベルアップするための計画・デザイン・政策・社会的意義の各種調査・フィールド・実証研究をします。



歩道と車道の段差解消や路面のサイン

2. 地域のモビリティ(移動性)を
確保するための研究

地域での暮らしを継続させるために必要となる公共交通、移動手段、モビリティの課題解消に向けた交通まちづくりのための計画・デザイン・政策について調査・フィールド・実証研究をします。



デマンドタクシーや次世代モビリティ

環境・まちづくり系専攻
福祉のまちづくり研究室
准教授

きたがわひろし

北川博巳

h_kitagawa@socio.kindai.ac.jp



<https://researchmap.jp/read0166026>

3. 少子・高齢社会に向けた まちづくりの研究

子育てしやすいまちづくりや地域包括ケアを実現させるための健康なまちづくり、災害や事故から安全に暮らせる福祉のまちづくりに関する調査・フィールド・実証研究をします。

4. 障がいの多様性に配慮した社会づくりに 向けた調査研究

障がいは極めて多様であり、多種多様なニーズがそこにはあります。福祉のまちづくりにおいても多様性を重視しながら新たな課題の解消に向けての調査研究をしてゆきます。

●論文・作品・表彰・特許等

1. 北川博巳 (2019) 高齢ドライバーと社会システムとのギャップの考察, 土木計画学研究・講演集 No.60.
2. 北川博巳 (2018) 高齢者モビリティ確保の社会的なフレームワークの考察—運転から代替交通手段まで—, 土木計画学研究・講演集 No.57
3. Hashizume, T., Kitagawa, H., Ueda, H., Yoneda, I., Booka, M. (2017) Efficiency and Rolling Resistance in Manual Wheelchair Propulsion. *Studies in Health Technology and Informatics* 242 778-781.
4. 大森清博, 柳原崇男, 北川博巳, 池田典弘 (2016) 高齢者の視覚探索特性を考慮した路面誘導サインの有効性に関する考察. 土木学会論文集 D3(土木計画学), 72(5) I_1105-I_1113.
5. 土木学会土木計画学研究委員会福祉の交通地域計画研究小委員会, 災害科学研究所交通まちづくり学研究会 (2008) 日本の交通バリアフリー—理解から実践へ, 学芸出版社.
6. 三井住友海上福祉財団賞 (2006) 「参加型・福祉の交通まちづくり」
7. 北川博巳(2004)高齢社会における移動制約者の交通需要と道路歩行空間整備に関する基礎的研究, 博士学位論文(近畿大学)
8. ロービジョン者用ウェアラブルディスプレイ (2014) 特許公開2014-165616

など

▲趣味等

特にこれといった趣味はないのですが、歩いたり自転車に乗ったりして、まちをぶらぶらすることが好きです。最近では目的地までの移動手段や地図を調べるのも結構好きかもしれません。あとはロックミュージック(洋楽)が好きなので幅広く聴いています。

◆ゼミの宣伝等

福祉のまちづくりは社会学・社会福祉学・都市政策学・環境工学・建築学・老年学・リハビリテーションなど多様な分野を横断したものであり、その知見をもとに調査・実験・フィールドワーク・地域分析などをしてまちづくりに活かす間口の広い研究領域です。このゼミでは複雑で多様な課題に対し、「現実の課題をもとに、過去や人から学び、学んだことを行動に移して未来を創造する」研究を目指します。過去からの知見を調べ、今のそこにある問題を発見して、その解決に向けての糸口となるリサーチ活動をすることで、人にやさしいまちづくりを提案できるような研究をして行ければと思います。住み慣れた地域で暮らしを継続し、健康で活力の維持できる福祉のまちづくりを一緒に考えて行きましょう。